

平成22年度当初予算 重点的な取組別概要
 <みえの舞台づくりプログラム>

元氣3：食に学び、食を育む環境づくりプログラム（主担当部：農水商工部）

<プログラムの目標>

県民の皆さんが、三重県の食の魅力や価値を理解し、食に関する正しい知識を学ぶことにより、豊かで健全な食生活が広がるなかで、県民ニーズに応えた安全・安心で魅力ある県産食材の提供に向けた生産者などの取組が進められています。

<構成事業（担当部）>

- (1) 地産地消情報発信事業（農水商工部）
- (2) 健康食育推進事業（健康福祉部）
- (3) 学校食育推進事業（教育委員会）
- (4) 地域連携創造支援事業（農水商工部）
- (5) みえの食・安心安全確立推進事業（農水商工部）
- (6) 食の安全・安心地域力向上事業（農水商工部）
- (7) 「みえの食」魅力づくり応援事業（農水商工部）
- (8) 新たな「みえの食材」供給促進事業（農水商工部）
- (9) 森の恵みの価値向上事業（環境森林部）

<プログラムの事業費>

（単位：千円）

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
策定時の見込額 ※1	140,072	90,000	88,000	88,000
予算額等 ※2	79,294	70,827	134,593	111,331

※1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

※2 H19,20年度は決算額、H21年度は予算現額、H22年度は当初予算額。

<構成事業の目標> 21年度実績値は1月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1)地産地消・食育情報誌の発行回数	目標値	—	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	4回	4回	
(2)セミナー・研修会への参加人数	目標値	—	2,000人	2,500人	3,000人	3,000人
	実績値	—	2,340人	2,770人		
(3)朝食を毎日食べる小学生の割合	目標値	—	91%	94%	97%	100%
	実績値	88%	89%	87%	88%	
(4)地域における連携活動の実践数（累計）	目標値	—	5件	9件	26件	33件
	実績値	—	7件	19件	26件	
(5)人と自然にやさしいみえの安心食材登録件数（累計）	目標値	—	453件	620件	695件	770件
	実績値	421件	546件	629件		
(6)県の「食の安全」の取組の認知度	目標値	—	45%	46%	49%	50%
	実績値	44%	45%	48%	52%	

(7)「みえ地物一番の日」の協力店舗等の数	目標値	—	940 か所	985 か所	1,030 か所	1,075 か所
	実績値	895 か所	907 か所	992 か所	1,065 か所	
(8)新たな「みえの食材」生産供給システムの実験件数	目標値	—	3 件	3 件	3 件	3 件
	実績値	—	3 件	3 件	3 件	
(9)品質・衛生管理マニュアルによる特用林産物生産割合	目標値	—	10%	20%	35%	40%
	実績値	6.6%	18%	33%	38%	

<進捗状況（現状と課題）>

- ・ 社会情勢や生活環境の変化の中で、生活習慣病の増加や朝食を欠食している幼児、児童生徒の存在などのさまざまな課題が顕在化するとともに、食品関連事業者による偽装表示や輸入農産物の安全性の問題など、消費者の信頼を損ねる事案が発生しています。
- ・ こうした中、「生産から消費までの望ましい食の循環」を構築するため、食に関わるさまざまな主体が実践的に活動していくしくみづくりが必要になっています。
- ・ 県内9地域での地域サロンの活動を通じて、多様な主体が連携した地産地消や食育推進のモデル的な実践活動が7ヶ所で展開されているほか、各地での食事バランスガイドに関する研修会、食の安全・安心交流会やフォーラム等の開催、食育や地産地消活動に関するニュースレターやメールマガジンの発行などに取り組んでいます。
- ・ 学校では、新たに、「みえ地物一番給食の日」を設けて給食への地域食材利用を呼びかけるとともに、朝食メニューコンテストの実施などにより、食育の推進をはかっています。
- ・ 生産現場においては、「みえの安全・安心農業生産推進方針」に基づき、「みえの安心食材」等を地域のニーズに応じて供給する多品目適量産地の育成に向けたモデル的な取組に対して、10地区で支援しています。
- ・ 食育や地産地消の普及定着のためのさまざまな取組を進めてきた結果、地産地消についての理解は相当進んできましたが、県民が県産食材を積極的に購入する行動にはつながりにくい状況であることから、今後は地産地消に基づく積極的な購買行動を促進するための取組が必要です。

<平成22年度の取組方向>

- ① 学校や家庭、事業所、生産現場などのさまざまな地域やステージで、食事バランスガイドの普及や、子どもたちに対する望ましい食習慣の習得、地産地消運動、食の安全・安心県民運動などに取り組む多様な主体の活動を促進するとともに、生産者や食育活動実践者との連携のもと、学校等において地場産物を活用した給食実施の拡大や食に関する指導を進めます。
- ② 安全で安心な農林水産物やそれらを材料とした加工食品が、県民に安定的に提供されるよう、消費者のニーズに応える多品目適量産地の育成や、「みえの安心食材」「地域特産品認証食品（Eマーク）」の普及拡大に取り組めます。
- ③ 地産地消に基づく積極的な購買行動が促進されるよう、「みえ地物一番」と連動した表示制度の検討を行うとともに、消費者と食品関連事業者、生産者のコミュニケーションの構築に向けたしくみづくりを進めます。

<他の主体の参画内容>

- ・ 地域住民やNPOは、学校等のさまざまな主体と連携して、食育に関わる実践活動に取り組むとともに、生産者等のさまざまな主体と協働して、地産地消に関わる実践活動や食の安全・安心に関する普及啓発活動等に取り組めます。
- ・ 生産者、生産者団体は、安全・安心で環境に配慮した農林水産物の生産に取り組むとともに、

生産現場の取組についての情報発信に取り組みます。また、県産食材の価値向上や魅力づくりに取り組むとともに、県民ニーズに応じた食材の生産供給の拡大に取り組みます。

- ・ 食生活・栄養指導団体は、講座開設や普及啓発等をとおして、県民のライフステージに応じた食生活の改善に取り組みます。
- ・ 食品関連事業者は、安全・安心な農林水産物や食品加工品の生産・流通に取り組むとともに、食の安全・安心に係る情報発信や啓発活動に取り組みます。また、県産食材を用いた食品加工品の魅力づくりに取り組むとともに、「みえ地物一番の日」の取組に参加します。
- ・ 市町は、食育に関する教育や普及指導をとおして、児童生徒や地域住民に対する食育推進に取り組むとともに、地域における地産地消の実践活動や食の安全・安心の取組を推進します。

＜主な事業＞

- ① 地産地消・地域連携創造支援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】（事業(1)(4)）
（第6款 農林水産業費 第1項 農業費 2 農林水産振興費）
予算額：(21) 37,189千円 → (22) 38,735千円
事業概要：地産地消・食育情報の提供を行うとともに、多様な主体が連携して取り組む地域実践活動に対して支援します。また、地産地消を推進する施設整備や団体の食育活動を支援するとともに、学校給食への地域食材の導入を通じた食育の推進をはかります。（地産地消・食育情報誌発行：年4回、地域実践活動：7地区）
- ② 健康食育推進事業【基本事業名：33102 食環境の整備】（事業(2)）
（第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 1 公衆衛生総務費）
予算額：(21) 4,621千円 → (22) 4,040千円
事業概要：広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成に向けて、食事バランスに対する理解や「食事バランスガイド」を活用した取組等をはかり、多様な主体と協働した食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進します。
（食育実施者等を対象とした研修会：8地域）
- ③ 学校食育推進事業【基本事業名：12206 子どもたちの安全の確保と健康の増進】（事業(3)）
（第10款 教育費 第7項 保健体育費 1 保健体育総務費）
予算額：(21) 4,711千円 → (22) 3,109千円
事業概要：子どもたちが正しい食事の摂り方や望ましい食習慣を身につけられるよう、学校における指導体制を充実させるとともに、家庭、地域及び関係団体と連携・協力して地場産物を活用した食に関する指導や食体験活動等を推進します。（学校と地域で育む豊かな食体験推進事業委託：1地域予定、栄養教諭を中核とした食育推進事業委託：1地域予定）
- ④ みえの食・安心安全確立推進事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】（事業(5)）
（第6款 農林水産業費 第1項 農業費 2 農林水産振興費）
予算額：(21) 18,561千円 → (22) 14,952千円
事業概要：安全・安心で環境に配慮した持続的な農業を進めるため、「みえの安心食材」や「地域特産品（Eマーク）認証食品」の普及拡大をはかります。あわせて、食の信頼確保に向けた食品事業者等による自主的取組を促進するため、トップセミナーの開催や事業者相談等の支援を行います。
（みえの安心食材、Eマークキャンペーンの実施等）

- ⑤ (一部新) みえの安全・安心農業生産推進事業
【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】 (事業(5))
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 2 農林水産振興費)
予算額：(21) 2, 228千円 → (22) 4, 705千円
事業概要：生産者、食品関連事業者及び消費者が連携したGAP (農商消連携型GAP) を導入するモデル的な取組を実施することにより、消費者の理解を促進し、生産現場でのGAPの導入を推進するとともに、有機農業をはじめとする環境保全型農業を推進し、こうした取組を情報発信し、県民の理解を進めます。
(GAPモデル地域支援：3箇所、シンポジウムの開催等)
- ⑥ 多品目適量産地育成事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】 (事業(5))
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 6 農作物対策費)
予算額：(21) 10, 018千円 → (22) 10, 907千円
事業概要：地産地消と連携した安全で安心な農産物の生産を促進するため、生産品目の拡大やGAP手法の導入、販売体制の整備など、消費者ニーズに対応した地域密着型の多品目適量産地の育成に向けた取組を支援します。(モデル産地育成補助：6箇所)
- ⑦ 食の安全・安心地域力向上事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】 (事業(6))
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 1 農業総務費)
予算額：(21) 2, 909千円 → (22) 2, 366千円
事業概要：食の安全・安心確保推進モデル地域を中心に、市町や地域の多様な主体と連携・協働しながら、食の安全・安心県民運動を推進します。
(モデル地域：3市、食の安全・安心フォーラム・セミナー：2回開催予定、食の安全・安心協働連携事業：3事業実施予定)
- ⑧ 「みえの食」魅力づくり応援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】 (事業(7))
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 2 農林水産振興費)
予算額：(21) 11, 324千円 → (22) 10, 899千円
事業概要：魅力ある食材の開発や提供に取り組む意欲ある事業者を対象に、アドバイザー派遣や事業者間のマッチング支援などを行います。また、地域の生産物を通じた生産者と事業者の連携を促進します。さらに、県内の加工食品の販売を促進するため、「みえ地物一番」と連動した県産加工食品に対する表示制度の検討を行います。(アドバイザー派遣：60回、マッチング交流会：1回開催、「みえ地物一番給食の日」設定)
- ⑨ (新) 地産地消購買促進ふるさと雇用再生事業
【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】 (事業(7))
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 2 農林水産振興費)
予算額：(21) — 千円 → (22) 18, 481千円
事業概要：県民の県産農林水産物に対する購買行動を促進し、生産者の生産意欲増進につなげることをねらいに、「みえ地物一番」協力店舗等の参加を得て安全・安心情報や生産情報等の県産品の魅力や価値を、直接または間接に消費者に伝えるためのコミュニケーション手法を導入したビジネスモデルづくりに向けて取り組みます。
(コミュニケーション構築モデル地域：1地域)